

令和2年度 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券（国債・自由金利型定期預金）は原価基準を採用している。

(2) 無形固定資産の評価方法

減価償却費は償却年数5年の定額法を採用している。

(3) 借入金の限度額

百万円を上限としている。

2. 基本財産及び無形固定資産の増減額及びその残高

基本財産及び無形固定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

区 分	科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	国債	20,055,260	0	20,055,260	0
	自由金利型定期預金	15,000,000	10,000,000	0	25,000,000
	普通預金	5,960,639	10,000,000	1,000,000	14,960,639
	小計	41,015,899	20,000,000	21,055,260	39,960,639
無形固定資産	ホームページ開発費	1,531,200	0	306,240	1,224,960
	小計	0	0	0	0
	小計	1,531,200	0	306,240	1,224,960
合 計		42,547,099	20,000,000	21,361,500	41,185,599

※無形固定資産の当期減少額は減価償却累計額も含む。詳細は附属明細書参照

3. 基本財産及び無形固定資産の財源等の内訳

基本財産及び無形固定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

区 分	科 目	当期末残高	(うち、指定正味財産からの充当額)	(うち、一般正味財産からの充当額)	(うち、負債に対応する額)
基本財産	国債	0	(0)	(0)	(0)
	自由金利型定期預金	25,000,000	(0)	(25,000,000)	(0)
	普通預金	14,960,639	(0)	(14,960,639)	(0)
	小計	39,960,639	(0)	(39,960,639)	(0)
無形固定資産	ホームページ開発費	1,224,960	0	(1,224,960)	(0)
	小計	0	(0)	(0)	(0)
	小計	1,224,960	(0)	(1,224,960)	(0)
合 計		41,185,599	(0)	(41,185,599)	(0)

4. 担保に供している資産

なし

5. 保証債務

なし

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益（3月31日現在）

なし

以上